

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年12月22日
作成 高齢者支援センター	堺第2
作成者	柳原 順子

1.開催日時	2022年12月12日	(月)	18:30	～	20:30
2.会場	小山市民センター ホール				
3.主催センター	堺2				
4.参加人数	34人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 8人 (うち、医師 1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 11人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 4人		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会福祉協議会、障がい者支援センター)				
6.開催テーマ	おひとりさまでも安心して最期を迎えられる地域にするには				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>2022年4月に身寄りの全くない方が救急搬送され、他市の病院でお亡くなりになる案件が発生した。未払金や家の片づけ等を巡って、サービス事業所、大家、地域住民から様々な相談が支援センターに寄せられ、身寄りがない方の死後事務が委任されていなかったことで、地域の支援者に大きな負担が強いられることがセンターにて再認識された。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>身寄りがない方が直面する課題としては、「身元保証」「生活支援」「金銭管理」「医療同意」「死後事務」が主なものとされている。今回は「死後事務」について、実際の事例を振り返りながら検討し、身寄りのない方とその支援者のために専門職として地域で何ができるか、意見を出し合う場とした。</p>				
8.会議の内容	<p>1、ケース紹介 2、グループワーク①「専門職としてできることはないか」 3、発表・共有① 4、グループワーク②「今後地域に向けてできることはないか」 5、発表・共有② 6、まとめ・総評</p> <p>後見制度(任意後見含む)、身元保証サービス、死後事務の委任などを活用することが解決につながるのではと意見が出た一方で、これらが住民に対し周知不足であることや、相談窓口が知られていないことが課題に上がった。また、早い段階から「もしもの時の連絡・相談先」を教えていただく方法など、すぐに活用できる具体的な提案も出た。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>このケースにおいて、具体的にどのような資源を活用することができたかを話し合う中で、支援方法や社会資源が専門職に理解されていないことなどが明らかになった。今後は活用可能と思われる制度や社会資源について、まずは専門職が学び理解し、このケースにおいても利用できたか検討を行い、その後住民に向けて周知していく。</p>				

医療と介護の連携支援センター 確認日	12月22日
--------------------	--------